

「保健福祉部内の女性職員によるワーキンググループ」の取組みについて

1 ワーキンググループの目的

道における喫緊の課題である人口減少問題、少子化問題に関し、子育て中やその経験を持つ、あるいは希望有志が集い、女性職員の視点から問題への考え方や支援策などのアイデアを取りまとめ、対策への提案を行う。

2 ワーキンググループの概要

子育て経験のある主幹級職員を中心として、7名が参加し、これまで3回の意見交換を開催している。

区 分	概 要 等
メンバー (7名)	子育て経験あり 2名(主幹、主査)、子育て中 2名(主査、主任)、 新婚 1名(主任)、夫婦道職員 1名(主任)、独身 1名(主事)
活動内容 (予定)	1 1月 ワーキンググループ発足 意見交換実施(第1回、第2回) 「知事との子育て世代の女性職員との座談会」出席 1 2月 意見交換会(第3回) 1 月 提案取りまとめ(第4回、第5回)
主な意見	(子育て中の企業の労働環境) ○仕事の悩みや難しさを補完し合えるよう、相互サポートのネットワークづくり。 ○女性が勤務していく上で、様々な相談に応じる窓口の設置が必要。 ○勤務時間は、テレワーク(在宅勤務)の活用など、柔軟に対応できると、働き続けやすい。 (産休・育休等の活用) ○上司の後押しや男性職員の理解が足りない。 ○仕事を託す上で、産休・育休が取得しやすくなるような、勤務環境の整備が必要。 (その他) ○これから子育てをすることを考えると異動に対する不安が大きい一方、異動しないことによるデメリットは大きい。 ○家庭や育児の状況に応じた、人事上の配慮が必要。

3 意見・提案の取りまとめ

1月下旬を目途に意見や提案として取りまとめ、「人口減少問題対策本部」に対し「提案書」といった形で提出するとともに、総務部とも連携し、道庁として率先して実施できるものはないかといったことについても検討していく。